



報道機関提供資料 1枚

福島県県中建設事務所

令和7年1月27日

福島県県中建設事務所

トヨタ自動車株式会社と共同で 工事現場における水素の社会実験を行いました。

福島県では、トヨタ自動車株式会社と連名で、「福島での未来のまちづくりに向けた水素の社会実装を開始」することを令和4年7月に発表しました。

県中建設事務所では、令和7年1月にトヨタ自動車株式会社と共同で、水素燃料電池自動車を活用して工事現場事務所へ電力を供給する社会実験を行いました。

【社会実験の概要】

- 1 実施日：令和7年1月14日（火）～1月15日（水）
- 2 内容：水素燃料電池自動車を活用した工事現場事務所への電力供給
- 3 使用機器：水素燃料電池自動車 MIRAI
工事現場事務所内の電気機器（室内照明、エアコン、電気ポット、PC等）
- 4 実施結果
 - ・拠点から現場事務所までの移動及び現場事務所の電力供給を十分に行うことができた。（総燃料のうち半分程度の電力でまかなうことができた）
 - ・期間中は電力の停止や変動がなく、安定した電力を供給できた。
- 5 工事関係者の声
 - ・通常の発電機に比べ静粛性に優れているため、騒音が気になる住宅街の工事に活用できる。
 - ・コンパクトで移動性に優れているため、頻繁に移動する現場での活用が見込める。



【問い合わせ先】 県中建設事務所 主幹兼企画管理部長 佐藤 文裕

電話 024-935-1403(直通) FAX 024-935-1407